

ケミカルプロセスー機能性材料作製プロセスとしての新展開ー

オーガナイザー：法政大学 石垣隆正，名古屋工業大学 岩本雄二，早稲田大学 菅原義之，
大阪府立大学 高橋雅英，京都大学 中西和樹，大阪府立大学 成澤雅紀

セッション概要

ケミカルプロセスと総称される化学反応を駆使する液相・気相プロセスやソフト化学プロセスなどは、機能性を有するセラミックス材料やハイブリッド材料の作製手法としても近年注目を集めるようになってきた。アプローチはさまざまであるが、組成や形態の制御などの切り口から、統一的に議論することは意義深い。

本セッションでは、さまざまなケミカルプロセスにより機能性材料を作製している研究者に参集して頂き、個々のプロセスについて議論し、機能性材料作製プロセスとしてのケミカルプロセスの可能性・将来を展望したい。

セッションキーワード・トピックス

ゾル-ゲル法，プレセラミック法，CVD 法，ソフト化学プロセス，インターカレーション，無機材料，ハイブリッド材料，ナノ材料，光機能，電磁氣的機

能，吸着能，高強度

招待・依頼講演者（予定）

青木卓哉（宇宙航空研究開発機構）片山真吾（昭栄化学工業），寺西利治（京都大学），宮嶋圭太（ノリタケカンパニーリミテド），米澤 徹（北海道大学）

発表形式

口頭発表・ポスター発表を募集します。ただし、申込件数により、発表形式の変更をお願いする場合があります。なお、若手（35 才以下）を対象とした表彰を予定します。

共催・協賛（予定）

高分子学会，日本化学会，日本ゾル-ゲル学会，粉体粉末冶金協会

連絡先

ys6546@waseda.jp（菅原義之）